

## 【意見集約】魅力と活力ある県立高等学校づくりに向けたいご意見を聴く会〈湖東〉

日 時 平成 22 年(2010 年)11 月 23 日(火) 10:00 ~ 11:58

場 所 彦根燦ぱれず(参加者 4 4 名:発言 1 4 名)

### (魅力と活力ある学校づくり関連)

教員や地域の人も一体となり、学校づくりを考えるべき。学校の統廃合の際には、地域社会の理解が大切。家庭がゆったりと子どもを送り出せない魅力ある学校とならない。

統廃合でなくなる学校をわからないまま選び、入学後に再編を知るのか。中学校 3 年生の立場に立って再編を考える必要がある。

### (学校規模、学級規模関連)

3 学級規模なら生徒と丁寧に接することができる。学級数が少ない方が子どもと接して、よく見ることができ、この適性学級規模の変更は県教委の一方的な考え方だ。

### (地理的、地域的課題関連)

実際に再編で統廃合がされるのは、子どもが減少する地域からと考えられ、地域差が大きくなるため、地域別にメリット、デメリットの問題を考えていくことが必要。

今までの学科が地元になくなることで、通学面から進学を断念することにはならないか。

### (計画の周知と意見反映関連)

各学校の P T A 2 名程度の参加とあったが、すべての保護者の意見を聴くのなら 2 名の制約はしなかった方がよかった。開かれた説明会というのならもう少し意見を聴くべき。

高校の統廃合の直接の影響を受けるのは現在の小・中学生で、入学後に再編対象校と言われると混乱する。情報が行き届いていないので保護者としては不安。保護者の立場に立って進めてもらわないと不安が大きくなる。

マイナス情報も含め、全保護者に、中学校校長名で、すべての保護者が情報を得られるように伝えてほしい。資料は学校に全員分を意見募集が終わるまでに配布してほしい。

保護者全員に情報が伝わるようにしてほしい。すべての保護者に今日の資料を渡しては、保護者向け情報誌「教育しが」に掲載すればよいのではないか。

この会を持ったあとに、本日の参加者が学校に持ち帰って説明する義務はあるのか。

意見募集の用紙にどのようなことを書いたらよいのか分かりにくい。

今日欠席された学校の保護者にも内容が伝わるようにしてほしい。次の説明会をいつ実施するのかについても教えてほしい。

### (財政難と教育費関連)

魅力ある学校をつくるのはよいが、子どもが不安になる改革を急いでやるのはよくない。

ここで言われる魅力ある学校とは大人にとっての理想であって、子どもの理想ではない。

滋賀県の高校生 1 人あたりの教育費は低く、もっとお金をかけるべき。

### (特別支援学校関連)

特別支援学級の生徒は増えているため、特別支援を要する生徒のために高校施設を利用することも他府県にはある。資料の中に県立高校の生徒数などだけではなく、特別支援の生徒数や施設の情報もないと高校再編の全体が見えない。高校再編と同時に特別支援学校高等部のこともあわせて考えてほしい。

**(具体的な再編内容関連)**

具体的な学校名が出されないと具体的な意見を出せない。具体的な計画があればもっと意見が言える。発言した意見が反映されるような進め方が必要。

**(生徒数の減少関連)**

子どもの数が減るとあるが、平成 22 年度以降はそれほど減らず、流入もある。

**(スケジュール関連)**

具体的なスケジュールについて、目標であってもよいのできちんと書いてほしい。

同趣旨のご意見については集約して取りまとめました。説明資料に対する質問等については、省略しています。